

ヴァナキュラー・比較文化論—国立民族学博物館・特別展サテライト展示—

Musabi's "Wunderkammer 2024": Never Sleeping Lion vol.5

Vernacular and Comparative study of cultures: Special satellite exhibition of National Museum of Ethnology



図版1：マコンデ彫刻 | タンザニア (国立民族学博物館所蔵)

会期：

2025年3月31日(月)
— 6月3日(火)

開館時間：10:00～17:00

休館日：水曜日・祝日

入館料：無料

会場：

13号館2階
民俗資料室ギャラリー

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

監修：加藤幸治(武蔵野美術大学 教養文化・学芸員課程研究室教授、武蔵野美術大学
美術館・図書館 副館長)

共催：国立民族学博物館

本展の概要

武蔵野美術大学 美術館・図書館では、国立民族学博物館との共催企画として、「ヴァナキュラー・比較文化論-国立民族学博物館・特別展サテライト展示-」を開催いたします。

1970年大阪万博に先立ち、EEM(日本万国博覧会世界民族資料調査収集団)が世界各国で収集した資料は、太陽の塔内部の「地底の太陽」とともに展示され、国立民族学博物館に収蔵されました。また、高度経済成長期の日本において、日本観光文化研究所が全国規模で収集した国内最大規模の民俗資料は本学に収蔵されました。世界へ向けられた異文化へのまなざしと、日本列島の文化の多様さへのまなざしを、同時代の2つのコレクションは宿しています。

今回の展示は、共催企画である国立民族学博物館の創設50周年記念特別展「民具のミカタ博覧会-見つけて、みつめて、知恵の素」のサテライト展示として開催します。EEMからタンザニアのマコンデ高原に住んでいたマコンデの人々による彫像を展示し、そこに本学が所蔵するパプアニューギニアの仮面などの海外資料、日本の民俗資料を組み合わせて展示します。世界と日本の民具を、生活から生まれる造形=ヴァナキュラーを比較する視点から見つけて、知恵の素を探ってみたいと思います。

なお、通常は週2回の民俗資料室収蔵庫見学を、会期中は休室日をのぞき毎日行います。展示をきっかけに、みずからの視点で民具を熟覧してみてください。

展示構成

〈1 像を彫り出す想像力〉



【左】図版1：マコンデ彫刻 | タンザニア (国立民族学博物館所蔵)

【右】図版2：アイヌ女性像 | 北海道



〈2 人ならぬ者への想像力〉



【左】図版3：仮面土器 | パプアニューギニア

【右】図版4：神像 | パプアニューギニア



〈3 反復・成長していく図像〉



図版5：タバ・クロス | パプアニューギニア

イベントの開催について

会期中には、民具のミカタを深め、自分なりのミカタを探っていただけるようなワークショップ、トークイベントを開催します。

ワークショップ

「民具のミカタ」オリジナルトートバッグをつくろう！

日時：2025年4月29日(火・祝) 14:00～16:00

内容：美大生と一緒に民具をじっくり観察したあとに、お気に入りをクローズアップしてトートバッグに描くワークショップです。

対象：小・中学生

定員：15名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料

会場：13号館2階民俗資料室ギャラリー、民俗資料室収蔵庫

お申込方法：当館ウェブサイトのフォームからの事前申込

トークイベント

「アフリカ美術を知るために：三つの視点をめぐる旅」

日時：2025年4月24日(木) 16:40～18:10

講師：緒方しらべ(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 助教)

「宮本常一の現在性 —社会変革の民俗学—」

日時：2025年5月8日(木) 16:40～18:10

講師：門田岳久(立教大学観光学部交流文化学科 教授)

「『アイヌの民具』の頃 —民具実測事始め」

日時：2025年5月15日(木) 16:40～18:10

講師：小島孝夫(成城大学文芸学部文化史学科 教授)

共催：学芸員課程特別授業シリーズ

会場：1号館104教室

参加費：無料(事前申込不要)

すべての学生・教職員のほか、サテライト展来館者もご参加いただけます。

詳細は当館ウェブサイトをご確認ください。

同時開催

「民具のミカタ」オリジナル缶バッジをつくろう！

日時：会期中随時開催

内容：民具のミカタをじっくり深めたあとは、お気に入りをぐぐっとクローズアップして描いてみましょう。世界に一つだけのオリジナル缶バッジに大変身！

対象：どなたでもご参加いただけます

会場：13号館2階民俗資料室ギャラリー

参加費：無料

同時公開

会期中は、民俗資料室の収蔵庫を公開いたします。

開室時間：10：00～16：30 * 展覧会の開館時間とは異なりますのでご注意ください。

休室日：水曜日・祝日

国立民族学博物館開催情報

みんなく創設50周年記念特別展

「民具のミカタ博覧会—見つけて、みつめて、知恵の素」

A Special Exhibition for the 50th Anniversary of the Museum's Founding : MINGU Design Expo
— Discovering Sources of Wisdom

日程：2025年3月20日(木・祝)～6月3日(火)

会場：国立民族学博物館 特別展示館

* 大阪会場の情報については国立民族学博物館ウェブサイトをご確認ください。

本学の民俗資料について

武蔵野美術大学 美術館・図書館の民俗資料は、かつて、徹底したフィールド調査の鬼であった、異端の民俗学者・宮本常一(1907-1981、1965-1977本学教授)が主導した日本観光文化研究所に由来する資料と、宮本常一のもとに集った学生たちが結成した生活文化研究会の収集を核とした資料が中心となっています。主に第2次世界大戦前から、高度経済成長期までの間に、人々が自然素材を使って暮らしの中で生み出し、使い続けてきた民俗資料(民具)を日本全国規模で収集し、約9万点の一大コレクションを成しています。

本学では、日々表現と向き合っている学生たちのアイディアの源泉として、そしてアートやデザインなど、ものづくりへの思索を深めるために、収集した美術資料・造形材料をさまざまな方法で教育・研究に活用しています。今回出品する民具も、そうした美術資料の重要なものとして位置付けられており、美術大学が保有する生活文化のコレクションとして、世界的にみても極めてユニークなコレクションです。

お問い合わせ先

武蔵野美術大学 美術館・図書館

東京都小平市小川町1-736

phone : 042-342-6006

fax : 042-342-6451

<https://mauml.musabi.ac.jp>

民俗資料室(井上・橘田)

プレス用図版をご希望の方へ：

・下記の事項をご参照の上、ご希望の図版番号と、必要事項をEメールにてお知らせください。

(お名前、ご所属、電話番号、Eメール、媒体名、掲載号、発行予定日、コーナータイトル)

・図版番号のご指定がない場合は、図版1をお送りします。

・指定のクレジット(資料名・所蔵等)を必ず明記してください。

・原則的には図版のトリミング、部分使用、文字載せはご遠慮ください。

・掲載内容確認のため、発行前に、PDF等で原稿をお送りください。

・紙媒体は掲載見本のご寄贈(掲載ページのPDF可)、ウェブ媒体は掲載ページのURLのお知らせをお願いします。